

ブディストマガジン 大乘

# DAIJO

西本願寺の本

BM Buddhist Magazine

7  
月号

和のこころ 親鸞聖人のご和讃 ● 玉木 興慈  
親鸞聖人からのお手紙 ● 佐々木 義英  
教えて! 浄土真宗 ● 藤澤 信照



ご縁を喜び、お念仏とともに

親鸞聖人御誕生

850  
立教開宗  
800



河野真学長(左)と対談=兵庫県加古川市・兵庫大学

# 釈徹宗の随縁探訪

45

## 親鸞聖人の白道をたどる



ゲスト  
河野真さん

「親鸞聖人御誕生八百五十年 立教開宗八百年 慶讃法要」へ向けた特別企画、宗門関係大学の学長を訪ねる「学長シリーズ」。今回から、兵庫大学（兵庫県加古川市）の河野真学長にお話をうかがいます。

### 学園の出発点は日曜学校

釈 かつて河野学長と私は、この兵庫大学で同じ学科に同僚として勤務していました。顔なじみの職員の方も多く、学生たちもすれ違うとよく挨拶をしてくれます。温かい雰囲気は以前から変わりませんね。そしてキャンパスの松の緑も変わらず、池からはカエルの声が聞こえてきます。

河野 自然環境はとて素晴らしいですね。加古川の松林は有名で、謡曲「高砂」に謡われた「尾上の松」も近くにあります。学生たちは食堂辺りに「トトロの森」などと名前をつけているようです。昭和四十一年（一九六六）に、神戸市須磨区からこの地に移転してきたのですが、松の木も池も、もとここにあったものです。

釈 立派な松並木です。兵庫大学は、龍谷総合学園の宗門関係学校という位置づけですね。

河野 ええ。建学の精神は、聖徳太子の十七条憲法に示された「和」の精神です。「和」を根本の精神として仰ぎ、仏教主義に基づく情操教育を行い、人材を養成しています。学園名は「睦学園」で、「睦」も十七条憲法の第一条にある言葉です。本

学園では「睦」を、「親しみ相和すこと、つつしみて和らぐこと」という意味でいただいています。

釈 親鸞聖人は聖徳太子への思慕がたいへん強く、若い頃から人生の岐路に立つとき、聖徳太子の教導きを求めてこられましたし、全国の太子信仰というものは浄土真宗が伝えてきています。加古川市には鶴林寺という、播州の太子信仰の拠点があります。この地に聖徳太子の言葉を建学の精神とする大学があることに大きなご縁を感じます。

河野 ちょうど来年が学園の創立百周年に当たるのですが、そもそも最初の出発点は創立の二年前、大正十年（一九二二）、神戸の須磨に「聖徳太子薨去千三百年」を記念して、仏教の日曜学校がつけられたことに始まります。

釈 子どもたちの遊び場であり、学びの場であり、というようなものだったのでしょうか。

河野 ええ。なぜ、そういう場を設けたかという



と、百年前の須磨というのは保養地で、サナトリウムがあったり、別荘があったり、夏ともなると大阪など都会から子ども連れで避暑に来るようなところでした。一方で地元の人には漁業など、村の暮らしをしている。すると、町の子と村の子の価値観が合わないのでケンカをしたりするわけですよ。せっかく、短期間であっても一緒にこの場で過ごすわけだから、みんな仲良くやろうよということでした。スタートしたのが学園の原点なんです。

積 そうだったんですね。

河野 鶴崎規矩子さんという方が私財を投じて、「太子日曜学校」が始まり、そこに教師として赴任してきたのが、河野巖想<sup>げんそう</sup>といって、私の祖父なんです。本願寺派の僧侶だったんです。

積 そういう経緯があったんですね。

河野 百年前の建物は、当時の建築としてはモダンなすごくいい建物で、これはもつと有効活用す

若い女性たちが地方から工員さんとして出稼ぎに来られていました。働く女性にも教育を受けたいという希望があり、また受けさせたいという社会的な要請もあり、働きながら学ぶ三部制度ができたのです。二部といえば夜間ですが、三部というのは昼間二交代制で、午前中勤務して午後は短大に、翌週は午前中短大で午後は勤務。当時の紡績工場は二十四時間シフトで、工場は三交代制、そのうちの十六時間分を働くか勉強するかという二交代にしたのです。半日ですから二年間の短大の課程を修了するのは無理ですので、三年間学ぶことになりました。これも当時、祖父の巖想が力を入れたようです。働く女性にも高等教育を、という動機で取り組んだ制度です。

積 創立の頃から教育に対する軸はぶれていませんね。そして今も保育科には三部制がある。

河野 二年制と三年制があつて、カリキュラムは

べきだということで、次に女性向けに家政や職業の技能を身につける学校を作ったんですね。それが「須磨ノ浦高等学校」の前身になります。やがて幼稚園がそこにできて、女性や子どもといった、当時、社会的に最も弱い存在、守られるべき存在、そこに手を差し伸べたいという思いでスタートしたのが学園のスタートだったわけです。

### 女子のための短大から四年制大学へ

積 そして、短期大学「兵庫女子短期大学」となつて加古川に移転し、大学が設置されたのです。

河野 短期大学部は、現在は保育科という幼児教育系の学科が一つだけになりましたが、第一部と第三部があります。三部制度は、みなさんおそろくあまりご存じないと思います。

積 珍しいですよ。

河野 加古川に紡績工場があつて、高度成長期、

同じですが、三年制の三部の授業は半日ですから、午後は自習やアルバイト、ボランティアなどに活用することが出来ます。

積 四年制大学の開学は平成に入ってからですね。  
河野 この地域は、東播磨地域と呼ばれています。高等教育機関の空白地帯で、大学は本学しかないんです。明石市には高等専門学校があります。一般大学はありません。そういうこともあつて、加古川市に大学をつくりたいという地元の声に押されるようなかたちで大学が発足しました。

積 地域の希望もあつたわけですね。



河野 真<sup>まこと</sup>さん

1961年兵庫県生まれ。兵庫大学学長。英国シェフィールド大学社会学部博士課程修了Ph.D.(博士)。1986年兵庫女子短期大学(現兵庫大学)入職。教授、副学長の後、2016年より現職。

**河野** 経済的な支援やバックアップもいただき、念願かなって大学が発足しましたので、地域とのつながりを非常に重視しています。

**積** 最初はどのような学部が設置されたのですか。

**河野** ちょうど阪神・淡路大震災の年、平成七年に設立されたのですが、学部は経済情報学部という、それまでとは趣を異にする学部を設けました。短期大学を母体にして四年制大学に改組していくというかたちで、大学を大きくしていき、短大を縮小していったことになります。現在は、現代ビジネス学部、健康科学部、看護学部、生涯福祉学部があります。

**積** 生涯福祉学部をつくろうというのは、河野学長の発案だったのですか。先生のご専門は福祉、社会政策ですね。

**河野** 私の考えというわけではないのですが、福祉系の学科を本学はやるべきだろうという考えはいて教えていただけますか。

**河野** さまざまなかたちで地域連携活動を展開させていただいています。公立大学かと思うほど、先生方はいろいろな委員会や審議会に参加しています。「日経グローバル」という雑誌の地域貢献の大学ランキングがあって、だいたい例年、全国で五十位ぐらいですが、兵庫県内では昨年度は第三位でした。一位は神戸大学、二位は兵庫県立大学、三位は兵庫大学と、評価をいただいています。地域連携活動については、まだ構想から一歩踏み出した段階ですが、「兵庫大学地域創成人材育成プラットフォーム事業」が始動しています。

**積** どういう事業ですか。

**河野** 地域課題を解決していく取り組みを組織的にやっつけていこう、そのプラットフォームを兵庫大が担うというものです。従来は「点」での活動でした。先生と事業者との繋がりでの一つの課題に



しゃく てっしゅう  
**積 徹宗**さん

1961年大阪府生まれ。大阪府池田市・如来寺住職。相愛大学学長・人文学部教授。専門は宗教学、比較宗教思想。グループホームを運営するNPO法人リライフ代表。

ありました。特に社会福祉学科の設置は苦勞しましたが、最近、社会福祉学科は結果を出しています。社会福祉士の国家試験の合格率が昨年は87%。今年も八割弱ですから全国平均から20%以上、引き離しています。精神保健福祉士にいたっては100%合格が五年連続ですから、学生もですが、先生方もがんばっています。

### 東播磨地域との連携活動

**積** 学園創設の時代から、地域とよい関係を築いておられるわけですが、兵庫大学の地域貢献につ

向き合って、そこにゼミ生と一緒に入っていくよ  
うなかたちですね。それを自治体とかNPOや学  
校なども「線」でつないで、「面」で展開してい  
くというものです。

**積** 地域貢献にも、和の精神を感じますね。仏教  
の学びとしてはどのような授業がありますか。

**河野** 「宗教と人生」というオムニバスの授業が  
あって、私も学長として、建学の精神について解  
説する授業を行います。親鸞聖人と聖徳太子の精  
神の親和性や、その現代的価値についての話です。  
**積** こちらの学校でも学風というか、気風みたいな  
ものはありますよね。建学の精神が、学風とか気  
風を生み出しているように思います。

### 「和」の精神を若い人に伝えたい

**河野** 建学の精神は空気みたいな存在かもしれま  
せんね。それを少し具体的に、特にその現代的な



価値について話すようにしています。たとえば「和」にしても、十七条憲法は千四百年前のもので、それがなぜ今日も価値ある輝きを保ち、さらに資本主義が行き過ぎた現代社会で、より重要な意味を持っている。だからこそ君たちはここで学ぶ意味があると。

**積** 仏教の教えには普遍性があります。

**河野** エスディージャーナルの「誰一人取り残さない」という考えと仏教の利他<sup>りた</sup>の精神も、建学の精神ときわめて親和性が高く、看護師になる人も、ビジネスマンになる人も、教育者になる人も、「誰一人取り残さない」理念を担う人材として社会で活躍できるはずだと。

**積** 聖徳太子が実現しようとした、まさに和の精神ですね。

**河野** それともう一つ、大切な言葉として、本学では「ありがとうのプロフェッショナルへ。」とい

うタグラインを策定しました。

**積** タグラインというのは、大学の概念を端的に表した言葉ですね。

**河野** ええ。ありがとうという感謝の気持ちを大切にしながら生きて仕事をしていくと、やがてあなた自身もありがとうと感謝の言葉をいただくことができる専門家となります、という意味です。

そこには学園訓の言葉「感謝」「寛容」「互譲<sup>しじやう</sup>」の意味も込めました。感謝は生かされる心、寛容は信じあう心、互譲は助け合う心として伝えていきます。

**積** 感謝、寛容、互譲は、和の精神ですよ、と言っても、抽象的で伝わりませんからね。

**河野** 実は「ありがとうのプロフェッショナルへ」という言葉にひかれて本学を選びました、という学生が結構いるんですよ。

**積** 学生の心にささったわけですね。

**河野** 建学の精神と言われても学生にはピンとこ



「兵庫大学で同じ学科に同僚として勤務していました」という両学長

ない。それをわかりやすく説明することはとても大切なことだと、自分自身で授業を受け持つためらうと思いました。

**積** そもそも河野先生のご専門は社会政策ですね。

**河野** 比較福祉国家政策が専門です。

**積** 比較福祉国家政策といいますが、さまざまな社会の福祉政策を比較するのですね。面白そうな学問です。そして、そこそが聖徳太子の目指した、和の精神、和のコミュニケーションですよ。太子は在家の立場で実行しようとされました。この世俗の中を仏教の精神で生き抜き、仏教の精神で政治を実践する、経済を考える、そんな法律を立てるとよりよい社会になると。ここがおそらく親鸞聖人の胸を打ち、たいへん共感されたところではないかと思えます。次回は、ご専門の福祉についてもお話をうかがいたいと思います。

構成…塚村真美